

# 飛驒市景気動向調査結果

平成29年度下半期

(平成29年10月～平成30年3月期分)

平成30年6月

飛驒市役所商工観光部商工課

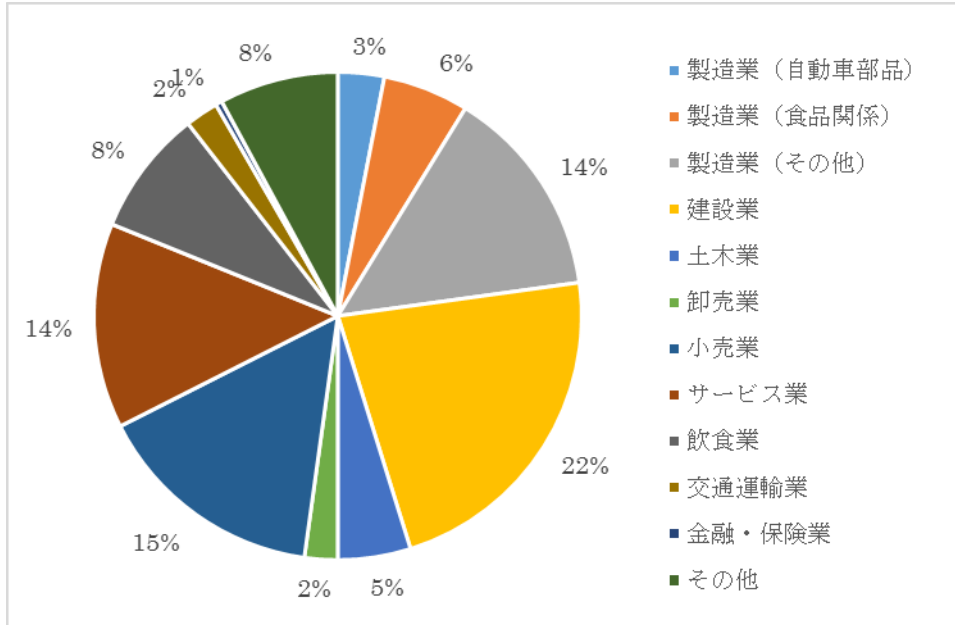
# 調査概要

1. 調査目的 飛騨市内の各企業等を対象とした景気動向
2. 調査方法 調査対象を事業所統計調査のデータから無作為抽出し、郵送及びFAX利用によって行うアンケート調査
3. 調査対象 市内企業 342社
4. 調査時期 平成30年4月9日～平成30年5月21日
5. 調査対象期間 平成29年10月～平成30年 3月期実績 (今期)  
平成30年 4月～平成30年 9月期見通し (来期)
6. 回収状況 依頼数 342社  
有効回収数 229社 (有効回収率 66.9%)  
業種別内訳

製造業 (自動車部品)	7社	(100.0%)
製造業 (食品関係)	13社	(68.4%)
製造業 (その他)	32社	(82.0%)
建設業	51社	(72.8%)
土木業	11社	(64.7%)
卸売業	5社	(62.5%)
小売業	35社	(59.3%)
サービス業	31社	(68.8%)
飲食業	19社	(63.3%)
交通運輸業	5社	(62.5%)
金融・保険業	2社	(100.0%)
その他	16社	(43.2%)

－ 業 種 別 内 訳 －

製造業（自動車部品）（3%） 製造業（食品関係）（6%） 製造業（その他）（14%）  
 建設業（22%） 土木業（5%） 卸売業（2%）  
 小売業（15%） サービス業（14%） 飲食業（8%）  
 交通運輸業（2%） 金融・保険業（1%） その他（8%）



7. 調査項目

定例項目 ①売上（加工）額 ②採算（経常利益） ③従業員数  
 ④資金繰り ⑤製品・商品在庫 ⑥仕入単価  
 ⑦設備投資 ⑧設備投資した内容 ⑨総合景況感

8. D I 値

D I（デフュージョンインデックス）は景気動向指数と呼ばれ、売上や採算などといった各項目について総合的に見た景況・不況の判断を示すもの。ゼロを基準とし、プラスの値となれば景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、逆にマイナスの値となれば景気の下向きを表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気といった景気感の相対的な広がりの意味する。

売上高D I = （増加割合）－（減少割合）

採算D I = （好転割合）－（悪化割合）

# 調査結果概況

## 1. 項目別D I

項 目	実績DI H29下期 (H29上期との比較)	見通しDI H30上期 (H29下期との比較)
①売上(加工)額	△5.8	△15.1
②採算(経常利益)	△11.9	△18.5
③従業員数	△46.2	△43.9
④資金繰り	△10.3	△16.6
⑤製品・商品在庫	△10	△12.2
⑥仕入単価	53	47.9
⑨総合景況感	△20.3	△25.3

## 2. 業種毎の項目別D I

### 1) 製造業(自動車部品)

項 目	実績DI(H29 下期)	見通しDI(H30 上期)
①売上(加工)額	0	33.3
②採算(経常利益)	0	0
③従業員数	△33.3	△33.4
④資金繰り	0	0
⑤製品・商品在庫	33.3	33.3
⑥仕入単価	33.3	100
⑨総合景況感	0	33.3

### 2) 製造業(食品関係)

項 目	実績DI(H29 下期)	見通しDI(H30 上期)
①売上(加工)額	△7.7	16.7
②採算(経常利益)	△23.1	8.3
③従業員数	△23.1	△7.7
④資金繰り	△38.5	△30.8
⑤製品・商品在庫	7.7	7.7
⑥仕入単価	69.2	61.6
⑨総合景況感	△46.2	△7.7

3) 製造業 (その他)

項 目	実績DI(H29 下期)	見通しDI(H30 上期)
①売上(加工)額	6.5	6.5
②採算(経常利益)	0.1	0
③従業員数	△45.2	△45.2
④資金繰り	6.5	3.2
⑤製品・商品在庫	6.5	△3.2
⑥仕入単価	32.3	35.5
⑨総合景況感	△3.2	△6.5

4) 建設業

項 目	実績DI(H29 下期)	見通しDI(H30 上期)
①売上(加工)額	3.9	△22.9
②採算(経常利益)	2	△18.4
③従業員数	△58.9	△65.3
④資金繰り	9.8	△12.2
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	44	38.7
⑨総合景況感	△9.8	△28.6

5) 土木業

項 目	実績DI(H29 下期)	見通しDI(H30 上期)
①売上(加工)額	36.4	△54.5
②採算(経常利益)	18.2	△45.5
③従業員数	△54.6	△36.4
④資金繰り	18.2	△9.1
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	60	60
⑨総合景況感	9.1	△36.4

## 6) 卸売業

項 目	実績DI(H29 下期)	見通しDI(H30 上期)
①売上(加工)額	△40	△40
②採算(経常利益)	△60	△40
③従業員数	△20	0
④資金繰り	△40	△40
⑤製品・商品在庫	0	△20
⑥仕入単価	80	80
⑨総合景況感	△60	△40

## 7) 小売業

項 目	実績DI(H29 下期)	見通しDI(H30 上期)
①売上(加工)額	△38.2	△21.2
②採算(経常利益)	△32.4	△24.2
③従業員数	△36.4	△39.4
④資金繰り	△32.4	△26.5
⑤製品・商品在庫	△11.8	△23.6
⑥仕入単価	47.1	44.1
⑨総合景況感	△50	△39.4

## 8) サービス業

項 目	実績DI(H29 下期)	見通しDI(H30 上期)
①売上(加工)額	△21.4	△17.8
②採算(経常利益)	△17.9	△28.6
③従業員数	△57.2	△64.3
④資金繰り	△25	△25.0
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	30.4	41.7
⑨総合景況感	△35.7	△35.7

9) 飲食業

項 目	実績DI(H29 下期)	見通しDI(H30 上期)
①売上(加工)額	△5.2	△16.7
②採算(経常利益)	△5.3	△16.7
③従業員数	△31.6	△33.3
④資金繰り	△27.8	△17.6
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	68.4	66.7
⑨総合景況感	△22.2	△23.5

10) 交通運輸業

項 目	実績DI(H29 下期)	見通しDI(H30 上期)
①売上(加工)額	△20	20
②採算(経常利益)	△40	△20
③従業員数	△60	△60
④資金繰り	△20	△20
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	25	50
⑨総合景況感	△20	0

11) 金融・保険業

項 目	実績DI(H29 下期)	見通しDI(H30 上期)
①売上(加工)額	0	0
②採算(経常利益)	100	100
③従業員数	0	50
④資金繰り	100	100
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価		
⑨総合景況感	50	50

景気動向調査結果業種別集計表

平成29年10月～平成30年3月期  
(%)

項目	比較区分	状況	業種別											
			産業全体	製造業 (自動車部品)	製造業 (食品関係)	製造業 (その他)	建設業	土木業	卸売業	小売業	サービス業	飲食業	交通運輸業	金融・保険業
(加工)売上額	(今期)前期と比べて	増加	6.3	0.0	30.8	6.5	7.8	9.1	0.0	2.9	3.6	5.3	0.0	0.0
		やや増加	23.2	28.6	7.7	22.6	23.5	45.5	20.0	11.8	7.1	31.6	20.0	50.0
		横ばい	35.2	28.6	15.3	45.2	41.2	27.2	20.0	32.4	57.2	21.0	40.0	0.0
		やや減少	25.0	42.9	38.5	19.4	11.8	18.2	60.0	44.1	21.4	31.6	20.0	50.0
		減少	10.3	0.0	7.7	6.5	15.7	0.0	0.0	8.8	10.7	10.5	20.0	0.0
(経常利益)	(今期)前期と比べて	好転	4.9	0.0	15.4	6.3	5.9	9.1	0.0	5.9	0.0	5.3	0.0	0.0
		やや好転	19.9	14.3	15.4	12.5	23.5	45.5	0.0	5.9	30.0	26.3	20.0	100.0
		横ばい	38.5	71.4	15.3	40.6	43.2	9.0	40.0	44.1	33.3	31.5	20.0	0.0
		やや悪化	29.6	14.3	38.5	40.6	17.6	36.4	60.0	35.3	26.7	31.6	40.0	0.0
		悪化	7.1	0.0	15.4	0.0	9.8	0.0	0.0	8.8	10.0	5.3	20.0	0.0
(臨時・パートを含む)従業員数	(今期)前期水準	過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや過剰	2.2	14.3	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	10.5	0.0	0.0
		適正	49.1	28.6	76.9	43.8	41.1	45.4	80.0	57.6	43.4	47.4	40.0	100.0
		やや不足	36.7	28.6	23.1	43.8	37.3	45.5	20.0	33.3	33.3	36.8	60.0	0.0
		不足	11.5	28.6	0.0	9.4	21.6	9.1	0.0	6.1	23.3	5.3	0.0	0.0
資金繰り	(今期)前期と比べて	好転	2.2	0.0	7.7	6.3	2.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや好転	9.8	0.0	7.7	3.1	19.6	18.2	0.0	2.9	10.0	11.1	0.0	100.0
		横ばい	65.7	85.7	30.7	71.9	66.6	63.6	60.0	61.8	73.3	50.0	80.0	0.0
		やや悪化	14.7	14.3	30.8	15.6	5.9	0.0	40.0	20.6	6.7	33.3	20.0	0.0
		悪化	7.6	0.0	23.1	3.1	5.9	9.1	0.0	14.7	10.0	5.6	0.0	0.0
商品在庫・製品	(今期)前期と比べて	増加	2.7	0.0	15.4	0.0			0.0	5.9				
		やや増加	6.7	16.7	7.7	6.5			20.0	8.8				
		横ばい	71.2	66.7	61.5	74.2			60.0	58.8				
		やや減少	16.7	16.7	7.7	16.1			20.0	26.5				
		減少	2.7	0.0	7.7	3.2			0.0	0.0				
仕入単価	(今期)前期と比べて	上昇	10.0	0.0	15.4	3.1	8.0	10.0	20.0	11.8	13.3	26.3	0.0	
		やや上昇	45.2	83.3	53.8	53.1	36.0	50.0	60.0	41.2	43.3	47.4	25.0	
		横ばい	42.5	16.7	30.8	43.8	56.0	40.0	20.0	41.1	40.1	21.0	75.0	
		やや減少	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	
		減少	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	5.3	0.0	
投設備	(今期)今期実績	実施した	37.2	57.1	46.2	67.7	40.0	45.5	0.0	26.5	33.3	27.8	40.0	0.0
		実施しなかった	62.3	42.9	53.8	32.3	60.0	54.5	100.0	73.5	66.7	72.2	60.0	100.0
総合景況感	(今期)前期と比べて	好転	3.1	0.0	0.0	6.7	3.9	9.1	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや好転	14.3	16.7	7.7	13.3	17.6	36.4	0.0	0.0	20.0	16.7	20.0	50.0
		横ばい	44.4	66.7	38.4	46.7	47.1	18.1	40.0	38.2	43.3	44.4	40.0	50.0
		やや悪化	30.5	16.7	46.2	33.3	19.6	27.3	60.0	44.1	30.0	33.3	40.0	0.0
		悪化	7.2	0.0	7.7	0.0	11.8	9.1	0.0	11.8	6.7	5.6	0.0	0.0



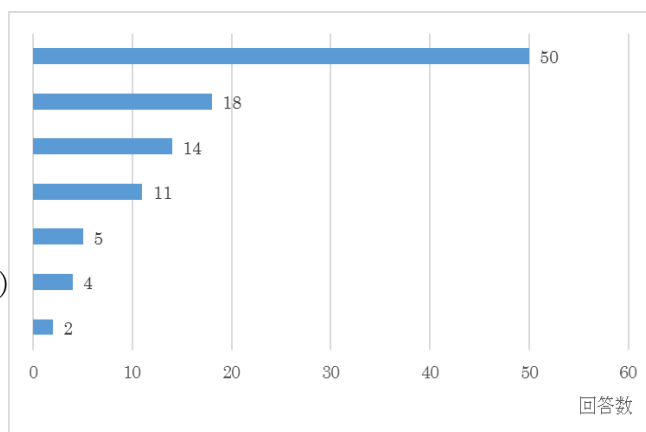
### 3. 設備投資実施状況

業種別	平成29年度下期実績			平成30年度上期見通し		
	行った	行わなかった	行った割合	行う	行わない	行う割合
全体	83	139	37.4%	65	158	29.1%
製造業(自動車部品)	4	3	57.1%	2	5	28.6%
製造業(食品関係)	6	7	46.2%	4	9	30.8%
製造業(その他)	21	10	67.7%	15	17	46.9%
建設業	20	30	40%	15	34	30.6%
土木業	5	6	45.5%	3	8	27.3%
卸売業	0	5	0%	1	4	20%
小売業	9	25	26.5%	7	27	20.6%
サービス業	10	20	33.3%	11	19	36.7%
飲食業	5	13	27.8%	5	13	27.8%
交通運輸業	2	3	40%	0	5	0%
金融・保険業	0	2	0%	0	2	0%

内訳

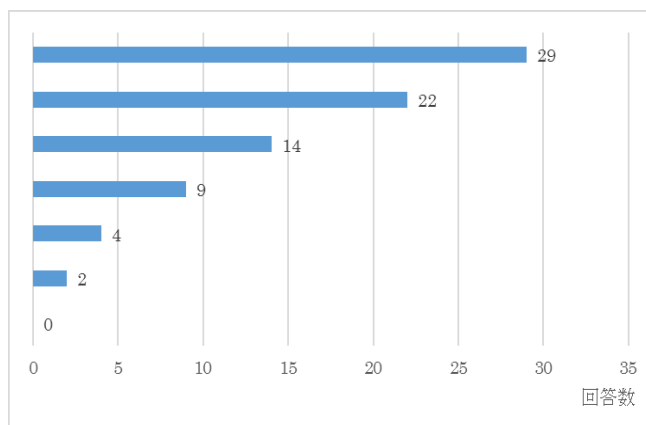
<平成29年下半期実績>

- 1位 補修・更新
- 2位 生産能力拡大
- 3位 合理化・省力化
- 4位 省エネ
- 5位 経営多角化
- 6位 その他(車両購入、店舗移転)
- 7位 事業転換



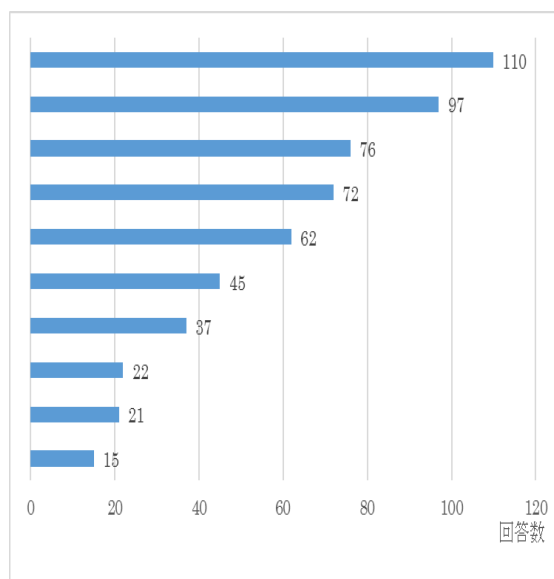
<平成30年上半期見通し>

- 1位 補修・更新
- 2位 生産能力拡大
- 3位 合理化・省力化
- 4位 経営多角化
- 5位 省エネ
- 6位 その他
- 7位 事業転換



#### 4. 経営上の問題点

- 1位 従業員の確保難
- 2位 需要の停滞・減少
- 3位 設備の老朽化
- 4位 商品・原材料の仕入単価の上昇・調達難
- 5位 人件費の上昇
- 5位 後継者問題
- 7位 販売価格（受注価格）の低下
- 8位 大企業（大型店）の進出による競争激化
- 9位 情報化への対応の遅れ
- 10位 新規参入業者の増加



#### 5. 後継者問題について

興味がある・・・95社

興味がない・・・110社

（興味がある、と回答した企業のみ）後継者について

後継者が決定している・・・26社（27.4%）

現在協議中・・・52社（54.7%）

欲しいがない・・・17社（17.9%）

#### 6. 総評

まず、今回の調査では、前回、前々回の調査で指摘のあった点を修正、また質問項目を増やし幅広く景況感の調査を行えるように改良を行いました。具体的には、業種毎のD I 値への影響度の違いが顕著に現れているとの指摘があったことから特定の業種の調査対象事業者を増やしたこと、アンケートで業種を選ぶ際に最も売上の大きい業種のみ選択としたこと、後継者に関する項目を増やしたことであります。

項目別D I の値は、ふり幅は大きいものの概ね改善が見られました。しかし、依然従業員不足の数値は大きく、慢性的な人材不足が深刻な状況にあることが読み取れます。経営上の問題点からも、依然従業員の確保難を問題としている事業者が多数あることが読み取れます。また、仕入れ単価については第一回の調査意向、概ね10ポイントずつ上昇していることが読み取れ、原油高を契機とした価格上昇が輸入品、さらにはほぼ全ての業種において影響を及ぼしていることが読み取れます。

上記2点においては、市内ほぼ全ての事業者に該当することであり、早急な解決が望まれる内容であることを十分認識する必要があることが読み取れます。